

令和6年産

仙台麦作情報

2024. 3.26 第4号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

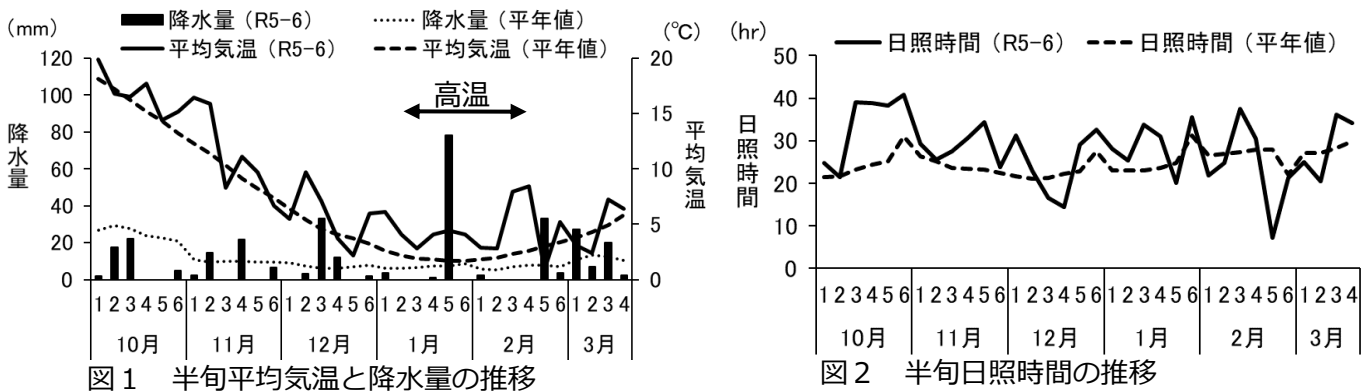
<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>



今後の栽培管理のポイント

- (1) 適期追肥の実施 (2) 排水状況の確認 (3) 茎葉処理剤による雑草防除

1 気象経過 (10月第1半旬～3月第4半旬 仙台アメダス)



- ・気 温：12月下旬から2月中旬まで概ね平年より高く推移していましたが、以降3月上旬まで平年より低い気温で推移しました。
- ・降水量：2月中旬までは平年より少なく推移しましたが、2月下旬及び3月上旬にかけては多くなりました。

2 大麦生育調査結果 (3月19日現在)

・仙台市 (シュンライ、ホワイトファイバー)

草丈は、ほぼ平年並となっています。シュンライの幼穂長は5.3mm、ホワイトファイバーの幼穂長は4.2mmでいずれも前年同時期より小さいものの、平年より早く生育が進んでいます。

・大和町 (ホワイトファイバー)

播種期が適期からやや遅い10月23日でしたが、播種後の天候に恵まれたこともあり茎数は前年より多くなっています。幼穂長は3.8mmで、前年より早い生育となっています。

表1 各ほ場における生育ステージ予

| ほ場 | 品種 | 減数分裂期 | 出穂期 | 開花期 |
|---------|-----------|-------|-------|-------|
| 大和町落合 | ホワイトファイバー | 4月17日 | 4月24日 | 5月2日 |
| 仙台市宮城野区 | | シュンライ | 4月10日 | 4月18日 |

※現時点での予測値であるため、今後の天候によって前後することが考えられます。実際のほ場の状況を確認して適期管理を実施してください。

表2 生育調査ほにおける生育調査結果（令和6年3月19日調査）

| 品種 | ほ場 | 条間(cm) | 播種日 | 草丈(cm) | | | 茎数(本/m ²) | | | 幼穂長(mm) | | |
|---------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------------|--------|--------|---------|------|------|
| | | | | 本年 | 平年比(%) | 前年比(%) | 本年 | 平年比(%) | 前年比(%) | 本年 | 平年差 | 前年差 |
| シュンライ | 仙台市 宮城野区 | 24.4 | 10月5日 | 14.7 | 106.8 | 91.9 | 598 | 56.1 | 62.6 | 5.3 | +1.3 | -0.6 |
| ホワイト ファイバー | 仙台市 宮城野区 | 21.6 | 10月5日 | 11.7 | 92.1 | 76.5 | 593 | 60.8 | 59.6 | 4.2 | +1.1 | -0.6 |
| | 大和町 落合 | 34.2 | 10月23日 | 13.2 | — | 89.2 | 1,752 | — | 238.2 | 3.8 | — | +1.4 |



仙台市シュンライ



仙台市ホワイトファイバー



大和町ホワイトファイバー

3 今後の栽培管理

大麦・小麦ともに、生育ステージの進みが昨年同様に平年よりも早い傾向となっています。
適宜生育ステージを確認し、各作業が遅れないようにしましょう。

(1) 適期追肥の実施

★追肥量については次ページの[表 追肥の目安]を参考にしてください。

【幼穂形成期の追肥】

- ・ 追肥時期：幼穂長 2 ～ 3 mm の時期
- ・ 平年に比べて小麦も生育が早いと予想されるため、適宜生育ステージを確認し確実に追肥を行いましょう。
- ・ 麦類は幼穂長が 2 mm を超える頃から莖立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。
- ・ 効果：穂数の増加

【減数分裂期の追肥】

- ・ 追肥時期：幼穂長 3 cm の時期
適期に播種された大麦では、減数分裂期は 4 月 10 日頃と推測されますが、今後気温が平年よりも高くなると予想されるため、適宜生育ステージを確認しましょう。
- ・ 効果：1 穂粒数の増加、千粒重・容積重の向上
平年より穂数が多いほ場では、細麦にならないように減数分裂期の追肥を確実に行いましょう。

※減数分裂期から追肥時期が遅れると、硬質麦の原因となる恐れがあります。

表3 追肥の目安

| 追肥の種類 (生育ステージ) | | 幼穂形成期 (幼穂長2~3mm) | 減数分裂期 (幼穂長3cm) | 穂揃期 (8~9割が出穂) |
|-------------------|---------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|
| 目的 | | 有効茎歩合増加 (穂数の確保) | 一穂粒数の増加 登熟良化 | 小麦の子実タンパク質 含有率の向上 |
| 大麦 | 時期 | 3月上~中旬 | 4月上~中旬 | 4月中~下旬 |
| | 10a当たり 施用量 | 窒素成分2.5kg (硫安12kg) | 窒素成分2.5kg (硫安12kg) | 硬質麦防止のため 実施しない |
| 小麦 | 時期 | 3月下旬~4月上旬 | 4月下旬 | 5月中旬 |
| | 10a当たり 施用量 | 窒素成分2.5kg (硫安12kg) | 窒素成分5kg (硫安25kg) | 窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg) |

※時期はおおよその目安です。実際にほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場でも、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

⚠ 追肥量が多すぎると倒伏の原因となるので、適期・適量施用に努めましょう。

(2)排水状況の確認

降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。「暗きよの再点検（閉じていないか）」「明きよの手直し」を行いましょ。

[節間伸長期~出穂期]に湿害が及ぼす影響→弱小分けつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化

(3)茎葉処理剤による雑草防除

・気温の上昇とともに雑草の発生が目立ってきています。麦の生育ステージを確認して除草剤が散布可能な場合は、雑草の発生状況に応じて薬剤散布を検討しましょう。

⇒使用可能な除草剤については下表を参照してください。

表4 麦類の使用可能な除草剤（令和6年3月15日現在）

| 薬剤 | 作物 | 適用雑草 | 10a当たり使用量 (散布液量) | 使用時期 | 使用方法 |
|----------------|------------|---------------------|-------------------------------------|--|------------------|
| ハーモニーDF | 小麦 | 一年生広葉雑草 スズメノテッポウ | 5~10g (50~100L) (少量散布は25~50L) | 播種後~節間伸長前 | 雑草茎葉散布 又は全面散布 |
| | | 一年生広葉雑草 | 3~10g (50~100L) (少量散布は25~50L) | 節間伸長開始期~穂ばらみ期 ただし収穫45日前まで | |
| MCPソーダ塩 | 麦類 (秋播) | 一年生及び多年生 広葉雑草 | 200~300g (70~100L) | 幼穂形成期 ただし収穫45日前まで | |
| エコパート フロアブル | 小麦 (秋播) | 一年生広葉雑草 | 50~100mL (100L) | 小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期、 ヤエムグラ2~6節期) ただし収穫45日前まで | |

※最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

※農薬使用の際に飛散防止対策を講じたうえで、使用してください。

○1 か月予報（仙台管区气象台 3月21日発表）

★期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

| | |
|---------------------|---|
| 向こう1か月(3月23日～4月22日) | 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。 平均気温は、高い見込み。降水量及び日照時間は、ほぼ平年並の見込みです。 |
| 1週目(3月23日～3月29日) | 気温は平年に比べて高い確率が50%です。 |
| 2週目(3月30日～4月5日) | 気温は平年に比べて高い確率が60%です。 |
| 3週目(4月6日～4月19日) | 気温は平年に比べて高い確率が50%です。 |

■農作業安全対策

令和6年度重点推進テーマ「学ぼう！正しい安全知識～機械作業の安全対策と熱中症の予防策～」

農作業事故の防止には、事故の発生状況や安全対策を「知る」ことが第一歩となります。今後、地域で開催される安全研修に積極的に参加し、具体的な行動の変化につなげましょう。

また、例年、農作業が本格的に忙しくなる3月頃から、歩行型トラクターの事故も増加する傾向があります。

後進にギヤを入れる際には、エンジンの回転を落とし、ハンドルを押さえ込みながら、ゆっくりとクラッチをつなぐことで、はさまれ事故や巻き込まれ事故を防ぐことができます。

